

糖尿病教室だより No.2 飲み薬編

飲み薬の効果や飲み方について、種類別にご紹介します。

飲み薬は大きく分けて7種類あり、状況に合わせて使い分けられています。治療効果が適切に得られるよう、飲み忘れなく正しく服用し、上手に血糖値をコントロールしましょう。

インスリンの効きをよくなる薬

メトグルコ (メトホルミン)



グリコラン錠 (メトホルミン)



ジベトス錠 (プロホルミン)



主に肝臓で、糖が作り出されるのを抑えます。

通常1日2~3回
食直前または食後

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。(緊急の場合を除く)

インスリンの効きをよくなる薬

アクトス (ピオグリタゾン)



筋肉や肝臓でのインスリンの効き目を改善します。

通常1日1回
朝食前または朝食後

インスリンの分泌を促す薬

オイグルコン (グリベンクラミド)



ダオニール (グリベンクラミド)



グリミクロン (グリクラジド)



グリミクロンHA (グリクラジド)



アマリール (グリメピリド)



すい臓を刺激して、インスリンの分泌を促します。空腹時や食後の血糖を改善します。

通常1日1回~2回
食前または食後

インスリンの分泌を促す薬

シュアポスト (レバグリニド)



スターシス (ナテグリニド)



ファスティック (ナテグリニド)



グルファスト (ミチグリニド)



通常1日3回、毎食直前(10分以内)

※ 食事の30分以上前に飲んでしまうと、食事開始までの間に低血糖を起こす可能性があるため、必ず直前に飲みましょう。(食後に飲むと正しく効果が発揮されません。)

すい臓を刺激して、速やかにインスリンの分泌を促します。食後の高血糖を改善します。

インスリンの分泌を促す薬

ジャヌビア (シタグリブチン) 	グラクティブ (シタグリブチン) 	ネシーナ (アログリブチン) 	トラゼンタ (リナグリブチン) 	ザファテック (トララグリブチン) 
エクア (ヒルダグリブチン) 	テネリア (テネリグリブチン) 	オングリザ (サキサグリブチン) 	スイニー (アナグリブチン) 	マリゼブ (オマリグリブチン) 

毎日のむタイプ

通常1日1~2回、食前または食後

血糖値の上昇に合わせて、インスリンの分泌を促し、血糖を上げるホルモンの分泌を抑えます。

週1回のむタイプ

通常 週1回
1日1~2回
食前または食後

糖の吸収をゆっくりにする薬

ベイスン (ボグリボース) 	セイブル (ミグリトール) 	グルコバイ (アカルボース) 
---	--	---

小腸での炭水化物（糖）の消化や吸収を遅らせて、食後の高血糖を改善します。

通常1日3回、食直前(10分以内)
※低血糖の時は、砂糖ではなく、ブドウ糖の補給が必要です。

尿中にブドウ糖の排出を促す薬

スーグラ (イブラグリフロジン) 	ジャディアンス (エンバグリフロジン) 	アブルウェイ (トホグリフロジン) 	デベルザ (トホグリフロジン) 	フォシーガ (ダバグリフロジン) 	ルセフィ (ルセオグリフロジン) 	カナグル (カナグリフロジン) 
--	--	--	--	--	---	--

通常1日1回、朝食前または朝食後

腎臓での糖の再吸収を抑えて、血液中の余分な糖を尿から出します。

配合剤 異なる効き方をする2種類の成分が1つの錠剤になったもの

イニシク配合錠

メトホルミン
インスリンの効きを
よくする



アログリプチン
インスリンの分泌を
促す



1日1回 食直前または食後

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。(緊急の場合を除く)

スージャヌ配合錠

シタグリプチン
インスリンの分泌を
促す



イプラグリフロジン
尿中にブドウ糖の排出
を促す



1日1回 朝食前または朝食後

エクメット配合錠HD(LD)

メトホルミン
インスリンの効きを
よくする



ビルダグリプチン
インスリンの分泌を促す



1日2回 朝、夕

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。(緊急の場合を除く)

カナリア配合錠

テネリグリプチン
インスリンの分泌を促す



カナグリフロジン
尿中にブドウ糖の排
出を促す



1日1回 朝食前または朝食後

メトアナ配合錠HD(LD)

メトホルミン
インスリンの効きを
よくする



アナグリプチン
インスリンの分泌を
促す



1日2回 朝、夕

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。(緊急の場合を除く)

トラディアンス配合錠BP(AP)

リナグリプチン
インスリンの分泌を
促す



エンパグリフロジン
尿中にブドウ糖の排出
を促す



1日1回 朝食前または朝食後

配合剤 異なる効き方をする2種類の成分が1つの錠剤になったもの

メタクト配合錠HD(LD)

メホルミン
インスリンの効きを
よくする



ピオグリタゾン
インスリンの効きを
よくする



1日1回 朝食後

※ 検査等でヨード造影剤を使用する時は、原則として検査の2日前から2日後までの間はお休みが必要です。(緊急の場合を除く)

ソニアス配合錠HD(LD)

グリメピリド
インスリンの分泌を
促す



ピオグリタゾン
インスリンの効きを
よくする



1日1回 朝食前または朝食後

リオベル配合錠HD(LD)

アログリプチン
インスリンの分泌を
促す



ピオグリタゾン
インスリンの効きを
よくする



1日1回 朝食前または朝食後

グルベス配合錠

ミチグリニド
インスリンの分泌を
促す



ボグリボース
糖の吸収をゆっくり
にする



1日3回 毎食直前

◇飲み忘れることが多い、種類が多くて困っている等ありましたら、一包化（他の飲み薬と一緒に1回分をまとめること）やお薬カレンダーの使用等で改善できます。また、状況によっては、お薬の種類や飲み方の変更ができる場合もあります。御相談ください。

◇飲み忘れた時やシックデイの時に飲み薬をどうするかは、薬の種類や患者さんによって対応が異なります。事前に主治医の先生に確認しておきましょう。

